

# 款10 教育費

## 項1 教育総務費

### 目1 教育委員会費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,199,000円	5,932,931円		266,069円

#### (教育総務課)

目的	教育委員会議の開催と事務局運営				
指標	開催回数	目標	14回	実績	14回 (16年度 16回)
説明	委員会に属する事務を適正に管理、執行し、本市における教育振興を図るため、教育委員会議を14回開催し、教育行政の基本事項、小・中学校、幼稚園の教育指導方針、重点施策及び条例規則の改正の審議等を行いました。また、本市教育の重要課題や懸案事項等に対する認識を深めるため、関係者を交えた議論の場として教育懇談会を9回開催し、本市教育施策の充実に努めました。				

〔委員報酬〕 5,284,246円

・教育委員会委員 委員長 1人 委員 3人

〔交際費〕 21,525円

#### その他経費

〔負担金〕 524,660円

・三重県市町村教育委員会連絡協議会 384,660円

・三重県都市教育長会 62,000円

・全国都市教育長会等 58,000円

・三重県公立学校施設整備期成会等負担金 20,000円

〔一般経費〕 102,500円

### 目2 事務局費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,029,244,000円	1,026,604,329円		2,639,671円

〔一般職給〕 70人 684,509,360円

〔嘱託職給〕 8人 26,847,476円

#### (教育総務課)

〔退職手当〕 146,529,537円

〔公務災害補償費〕 848円

〔事務局管理運営費〕 3,040,475円

・職員健康管理費

#### (教育施設課)

〔学校施設整備PFI推進事業費〕 4,200,000円

・モニタリング支援業務委託費

#### その他経費

〔学校施設整備基金積立金〕 100,024,865円 (その他特財 24,865円)

〔公立学校施設台帳整備事業費〕 10,972円

〔事務局管理運営費〕 52,514,186円

・合併に伴う教育制度検討事業費 323,900円

・職員研修費 551,320円

・一般経費(長欠等代替臨時職員賃金等) 51,638,966円

### 目3 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
338,422,000円	318,758,882円		19,663,118円

#### (教育総務課)

〔奨学資金〕

6,794,909円

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援			
指標	対象学校数、対象生徒数	目標	8校 2,600人	実績
	1人当たりの補助額		15園 延べ6,100人 一人当たりの補助額の拡大	8校 2,728人 (16年度 8校 2,636人) 15園 延べ6,306人 (16年度14園 延べ6,073人) 7,263円 (16年度 7,116円)
説明	私立学校(市内6校、市外2校、市内15幼稚園)の運営費等を補助することで教育条件の維持向上及び経営の健全化を支援するとともに、市内の私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、保育料を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図りました。			

〔私立学校等振興助成費〕	43,264,900円
・私立学校等運営費補助金	12,433,850円
・私立幼稚園運営費補助金	9,573,450円
・私立幼稚園教員研修費補助金	1,960,000円
・私立幼稚園協会運営費補助金	90,000円
・私立幼稚園保育料補助金	19,207,600円

#### その他経費

〔一般経費〕

- ・教育振興一般経費(自動体外式除細動器等) 13,660,185円

#### (指導課)

目的	小中学校教育の充実			
指標	指導要録の各教科の評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上 76%	実績
				「おおむね満足できる」以上77% (16年度 76%)
説明	<p>基礎学力定着・向上をめざして、到達度検査(平成14年度から実施)の結果分析を基に、少人数授業のあり方や教科・校種を超えた課題についても具体的な克服方法の検討・提言を進めてきました。四日市市の子どもたちの学力は全国平均以上であり、やや不十分であった教科(中学校理科)も改善されつつあります。英語については外国人英語指導員(11名)の派遣等、充実に努めていることで水準の高さを維持しています。学校づくり支援では、学校づくりビジョン実現に向けて、自校の学習における課題や地域の特色を活かした学習に取り組みを進めることができました。このような学習活動の充実をめざした事業等の展開によって、「おおむね満足できる」以上77%の目標は達成することができましたが、事業内容の検討や指導の工夫により、さらに実績値の向上に努めます。</p> <p>また、小中学校学びの一体化の推進は、平成15年度から平成17年度の3年間に進めてきた4モデル中学校区での調査研究を活かして、市内全中学校区で取り組みを始めます。この取り組みにおいて、小中学校の教育活動の連続性を確保・充実するための体制作りやカリキュラムの工夫・開発により、子どもたちの学校生活を一層充実させることで「確かな学力」や「健やかな成長」を図ります。</p>			

〔委員報酬〕	168,300円
・障害児就学指導委員会委員 3人分	
〔児童生徒指導事業費〕	9,761,807円
・環境教育推進事業費	436,800円
・体力づくり推進校事業費	300,000円 (県支出金 300,000円)
・文化部活動奨励費補助金	979,300円
・自分発見中学生・地域ふれあい事業費	1,750,000円 (県支出金 875,000円)
・基礎学力定着向上事業費	6,295,707円 (県支出金 2,029,000円)

〔学校図書館いきいき推進事業費〕	49,549,500円
〔学校づくり支援事業費〕	10,247,180円
〔英語指導員経費〕	52,278,538円
〔教職員研修費〕	299,829円
〔大規模校支援事業費〕	6,017,470円
〔小中学校一貫教育（学びの一体化）推進費〕	714,552円

目的	生徒指導の充実				
指標	問題行動・不登校児童生徒数	目標	135件・330人	実績	141件・286人 (16年度137件・342人)
説明	<p>スクールカウンセラー配置校の増加（10校）等教育相談事業の充実及び各学校における生徒指導や関係機関の連携等を充実させるなか、不登校児童生徒数（286人）は昨年度比85%と大きく減少しました。問題行動の発生件数は前年度より4件増となっていますが、目標に近い数となっています。これは、専門カウンセラーの配置や学校の生徒指導体制やカウンセリング機能の強化、関係機関との適切な連携等の取り組みの成果が表れてきたものと考えます。しかし、虐待をはじめまだまだ取り組むべき課題も多く、今後もカウンセリング機能・体制等の充実及び学校と教育委員会・関係機関の連携をさらに図り、問題行動・不登校児童生徒の更なる減少に努める必要があります。</p>				

〔児童生徒指導事業費〕	48,482,536円		
・教育相談事業費	15,820,000円		
・中学校単位地域すこやか協力者会議事業費	440,000円		
・生徒指導対策事業費	7,580,000円		
・不登校対策事業費	1,600,000円		
・来日外国人児童生徒教育充実事業費	20,052,536円		
・外国人児童生徒サポート事業費	800,000円	（県支出金	800,000円）
・子どもと親の相談員活用調査研究委託事業費	690,000円	（県支出金	690,000円）
・保護者・地域の活動ステージ整備事業費	1,500,000円	（県支出金	1,500,000円）

目的	幼稚園教育を充実する				
指標	保護者の保育に対する信頼度	目標	「信頼できる保育」80%以上	実績	信頼できる保育 89% (16年度 92.5%行事のみ)
説明	<p>園開放への参加者は、16,665組（前年比2.3%増）と増加し、子育て相談も577件（前年比10.3%増）となるなど、地域の子育てセンターとしての役割がますます高まりつつあります。地域が主体となる子育て支援活動は、前年度に引き続き2地域で実施されました。今後も公募を行い実施地域が増えるように働きかけをしていきます。園の保育への信頼度は、これまでの行事中心の調査を園づくりビジョンに対応した園自己評価に改め実施しました。89%という高い満足度ではありますが、園の保育・経営の課題を明確に把握してさらに信頼の得られる保育に努めます。</p>				

〔子育て支援推進事業費〕	2,368,440円
・子育て支援活動費	1,008,440円
・子育て支援運営費補助金	1,360,000円

#### その他経費

〔負担金〕	3,223,500円
・三泗教育発表振興会	2,683,000円
・教科書採択協議会	540,500円
〔一般経費〕	
・教育振興一般経費（愛知万博入場料、社会科副読本「のびゆく四日市」印刷製本費等）	20,448,795円

#### （学校教育課）

〔学校図書館システム事業費〕	1,166,900円
〔保健給食費〕	21,120,099円
・保健給食研修費	122,653円
・環境衛生検査室管理費	233,413円
・四日市学校保健会補助金	438,000円

- ・四日市学校保健大会開催費 122,150円
- ・楠学校給食共同調理場管理運営費 20,203,883円

〔負担金〕 551,620円

- ・三重県特殊教育振興会等

**(人権・同和教育課)**

目的	学校人権教育の推進充実を図る				
指標	学校におけるリーダーの養成 人数(15年度以降の累積人数)	目標	62人	実績	62人 (16年度 40人)
説明	連続講座によるリーダー育成研修を実施し、指導者の育成(3カ年で小中学校1名対象)に努めるとともに、人権教育推進校を中心に学習プログラムに関する研究を進め、その成果を市内の全校園に広げました。また、中学校ブロックにおいては、幼・小・中で連携を図り、実践交流形式を取り入れるなどの合同研修会や情報交換会を実施し、各校園教職員の人権感覚や実践力向上を図りました。				

- 〔人権教育指導者・リーダー育成充実事業費〕 5,014,392円
- ・学校人権教育リーダー育成研修事業費 755,392円
  - ・人権教育推進校園委託事業費 900,000円
  - ・中学校ブロック人権教育充実委託事業費 2,200,000円
  - ・人権教育ビーコンスクール事業費 1,159,000円 (県支出金 1,159,000円)

目的	地域の児童・生徒の自主自立を支援する				
指標	委託地区数 キッズホリデー実施回数	目標	5地区 65回	実績	5地区 (16年度 学校数9校) 64回 (16年度 62回)
説明	地域人権教育推進事業では、16年度までの学校委託から地域委託に変更し、5地区にある子ども人権文化育成協議会に事業を委託することができました。事業では人権学習、進路相談等を中心に、地域の指導者の参加も得ながら、人権尊重の心と実践力が育まれるように進められました。また、キッズ・ホリデースクール事業では、地元のボランティアの協力を得ながら、多彩な取組みを行うことができました。				

- 〔子ども人権文化創造事業費〕 5,600,000円
- ・子ども人権文化創造事業委託費

**その他経費**

- 〔人権教育学習機会提供・充実事業〕(研修派遣、ポスター・カレンダー、作文集) 3,718,862円
- 〔人権教育・学習資料充実事業費〕(学校人権教育の手引き・人権学習教材・パソコン使用料他) 1,111,230円
- 〔人権教育・啓発の自主活動の支援充実事業費〕(四日市人権・同和教育研究会運営費補助金) 1,200,000円

**(教育センター)**

- 〔学校図書館ネットワーク事業費〕 6,535,830円

**目4 教育・視聴覚センター費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
295,038,000円	283,607,274円		11,430,726円

(教育センター)

目的	情報教育の推進				
指標	教職員へのパソコンの活用に関するアンケートによるプラス評価	目標	満足度 80%	実績	満足度 80% (16年度 73%)
説明	情報教育と、教科学習でのよりいっそうの活用を推進するために、中学校コンピュータ室の機器等を更新しました。また大規模学校でのコンピュータ室の空き時間不足を解消するため、小学校2校、中学校3校に対して配備するコンピュータ30台(6台×5校分)を導入しました。これらの導入・更新とともに、小学校の有害情報遮断ソフト、小中学校のWiFi対策を強化し、より安全に学習できる環境を整備し、情報モラル教育の研究、小中62校全校の学校ホームページの開設と更新の推進、運用支援体制の整備、情報教育データベースの充実等によって、学校での情報教育の推進を図った結果、満足度は目標を達成することができました。引き続き情報教育の推進に努めます。				

〔教育情報通信システム運営費〕 245,101,662円

目的	学校園での生活に不適應を起こしている子ども及び障害のある子どもに対する支援				
指標	教育相談を実施した保護者へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 85% (16年度 83%)
説明	平成17年度も引き続き、学校、園、保護者からの要請に応じて教育相談活動を実施しました。本年度は「障害のある子どものための教育相談事業」において、モデル地区を1地区から3地区に増やし相談支援体制を充実させました。子どもの状態に応じて学校や専門機関、医療機関と連携を図りながら相談支援を行った結果、目標の満足度を達成することができました。今後も関係機関と連携を図りながら相談支援体制の充実に努めます。				

〔教育センター事業費〕 6,382,617円

・教育相談事業費  
相談件数等

来所相談件数	相談延回数	訪問相談件数
295件	1948回	210件

関係機関との連携件数

相談機関	医療機関
22件	21件

目的	教職員の多様なニーズと課題解決のための研修を推進				
指標	研修会に参加した教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 90%	実績	満足度 92% (16年度 87%)
説明	平成17年度は、今日的な教育課題を各教科・領域等の観点から「教科等研修」「人権・同和教育関係研修」「教育相談、特別支援教育、生徒指導関係研修」等に分類して、計139講座155日の研修を実施し、研修参加者は8,124人となりました。また、実践的指導力の向上を目指して実技・演習型、参加・体験型の研修会を数多く設定したため、研修会参加者に対するアンケート調査の結果における満足度も上昇して92%となり、目標を達成することができました。				

〔教育センター事業費〕 6,705,194円

・教職員研修費(講師報償費、先進校派遣、使用料)

6,109,334円

・三泗乳幼児教育研修事業費

595,860円 (その他特財 120,000円)

目的	学校・園における教育課題解決のための研究を推進				
指標	課題研究に対する教職員へのアンケートによるプラス評価	目標	満足度 85%	実績	満足度 82% (16年度 80%)
説明	前国立教育政策研究所研究部長の指導・助言を受け、「四日市の部落史の活用」「教育評価」「情報モラル教育」「特別支援教育」等についての6本の今日的な教育課題研究に取り組み、研究成果を関係機関に配付しました。これらの課題研究に対する教職員へのアンケートによる満足度は、昨年度より上昇したものの目標値まではあと一步のところでした。今後も、研究の継続と発展及び研究と研修の一体化を図るため、引き続き、人権・同和教育、教育評価、情報教育、学びの一体化、不登校児童生徒への支援等に関する研究を行い、今日的な教育課題解決のための研究推進に努めます。				

〔教育センター嘱託研究事業費〕	144,000円
〔教育センター事業費〕	3,922,152円
・教育課題等研究調査費	1,476,405円
・教職員研修費（嘱託研究校・園事業費）	2,445,747円
〔視聴覚ライブラリー事業費〕	6,494,487円（その他特財 1,306,000円）
〔視聴覚センター事業費〕	766,419円

生涯学習や学校教育の効果的な活動を支援するため、液晶ビデオプロジェクター、教材用ビデオテープ、16ミリフィルム等の視聴覚機器・教材の整備を行いました。また、市民の生涯学習に寄与できる実技講習会を実施するとともに、映画鑑賞会「親と子の映画会」を年7回実施し、延べ754人が参加しました。

区 分	保 有 数		利 用 状 況			
	購入数	保有総数	学校教育	社会教育	その他	計
16ミリフィルム	1	1207	37	30	3	70
ビデオテープ	100	1460	468	216	215	899

区 分	保有総数	利用回数	利用日数
16ミリ映写機	3	2	16
液晶プロジェクター	7	264	784
スライド映写機	2	4	15

#### 実技講習会実施状況及び応募状況

講習会名称	ビデオ撮影	ワード入門	ワード基礎	エクセル入門	エクセル基礎	パソコン入門
講習会開催回数	2回	1回	2回	1回	2回	2回
定 員	20人	40人	80人	40人	80人	80人
応 募 数	22人	142人	202人	128人	215人	249人

〔適応指導教室事業費〕	7,852,970円	（その他特財 359,450円）
・第1適応指導教室	4,444,010円	（県支出金 1,850,000円）
・第2適応指導教室	3,408,960円	
〔不登校児童生徒支援ボランティア事業費〕	956,481円	

不登校児童生徒の社会性や協調性を培い、集団適応能力を高め、学校復帰を目指して学習及び体験活動を行いました。また、家庭に閉じこもっている不登校児童生徒に対して、学生ボランティア27人を登録し、遊びや話し等、児童生徒とのふれあいを通し、自立に向けた支援活動として、家庭への派遣、適応指導教室での学習や体験活動支援を行いました。

開級日数	通級生 40人					
	復 帰	進 学	就 職	再相談	再入級	その他
204日	3人	15人	0人	2人	19人	1人

#### 家庭派遣状況

派遣件数	派遣回数	学校復帰	進 学
7 件	61回	1人	1人

#### ふれあいフレンド活動支援状況

活動内容	参加人数	活動回数
学習支援	93人	90回
体験活動支援	68人	59回

#### その他経費

〔負担金〕	1,166,000円
・三四教育研修運営委員会	1,100,000円
・全国教育研究所連盟等	66,000円

## 項2 小学校費

### 目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,629,416,000円	1,608,379,292円		21,036,708円

〔一般職給〕	67人	490,422,210円
〔再任用職給〕	1人	2,901,112円
〔嘱託職給〕	38人	113,547,672円

**(教育総務課)**

〔通学路交通安全施設整備事業費〕	19,927,907円	(市債 13,900,000円)
〔学校管理運営費〕	160,084,292円	
・一般管理運営費(事務補助及び給食調理員賃金等)		

**(学校教育課)**

目的	健康診断の充実				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.9% (16年度99.8%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、児童の健康維持、管理に努めています。17年度の受診率は99.9%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで児童の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	47,848,720円
・校医 50人	24,669,440円
・歯科医 50人	19,080,080円
・薬剤師 40人	4,099,200円
〔学校保健衛生管理費〕	35,570,933円
・児童健康診断費	

目的	安全で安価な給食の提供				
指標	一食あたり人件費	目標	190円	実績	197円 (16年度 198円)
説明	安全で安心できる学校給食を提供するため、調理員への衛生指導や研修会等を定期的に行うほか、学校訪問による給食指導を行いました。また、食材の選定や発注を担う給食協会に対しては、サンプル検討会等を実施し、給食の質の確保に努めました。なかよし給食の維持とともに、効率化を目指していきます。				

〔学校給食管理運営費〕	72,502,810円
・学校給食業務運営費	19,752,935円
・なかよし給食事業費	7,601,415円
・給食従事者健康診断費	1,190,289円
・一般管理運営費(消耗品、ガス等)	43,958,171円
〔学校管理備品整備費〕	15,717,135円
・一般給食備品(給食室備品)	

**その他経費**

〔学校管理運営費〕	291,000,632円	
・一般管理運営費		
光熱水費等経常経費		
〔学校管理備品整備費〕	15,461,955円	
・一般備品整備費(印刷機、キャビネット等管理備品費)		
	13,706,077円	
・一般保健室備品	1,755,878円	
〔学校保健衛生管理費〕	25,437,758円	
・教職員健康診断費	7,605,447円	
・一般管理運営費(保健用消耗品、災害共済給付金等)		
	17,832,311円	(その他特財 10,984,744円)

〔修学旅行引率事業費補助金〕	413,474円	
〔負担金〕	20,794,343円	
・学校災害賠償補償保険料等	1,672,333円	
・日本スポーツ振興センター共済掛金	17,171,930円	(その他特財 7,751,660円)
・三重県学校保健会	276,480円	
・全国連合小学校長会等	1,673,600円	

**(教育施設課)**

目的	施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	22%以下	実績	25% (16年度 22%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難であり、全体の工事件数が伸びないこともあり、緊急工事件数としては昨年度と同数ながら、目標値どおりには減少させることができませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	277,548,788円		
・施設維持管理費	81,271,435円	(国庫支出金	94,000円)
・施設補修費	188,195,988円	(国庫支出金	1,310,000円)
・PFI学校施設管理費	8,081,365円		

**その他経費**

〔学校管理運営費〕	18,262,986円	(その他特財	1,284,542円)
・一般管理運営費(土地使用料等)			

**(指導課)****その他経費**

〔学校管理運営費〕	935,737円		
・一般管理運営費(修学旅行及び自然教室実施時の代替養護職員の賃金)			

**目2 教育振興費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
506,345,000円	494,758,665円		11,586,335円

**(指導課)**

目的	小中学校教育の充実				
指標	指導要録の各教科の評定結果	目標	「おおむね満足できる」以上 76%	実績	「おおむね満足できる」以上 77% (16年度 76%)
説明	国際理解教育の一環として、市内及び市内近辺に在住する外国人英語指導員7名(一部YEFを派遣)を、全小学校の3年生以上の学級で年間12時間程度(平成12年度は5時間程度)英語の授業が確保できるように派遣しました。英語に親しむことを重視した体験的な英語活動を行うことにより、英語活動を楽しんだり、英語を使って積極的にコミュニケーションを図るなど意欲や興味・関心を示したりする児童が増えてきました。今後、四日市市小学校英語活動カリキュラム(平成18年4月)も活用しながら、よりよい活動の実施に努めるとともに、このカリキュラムについても検討を重ね改善を図ります。				

〔小学校英語充実事業費〕	22,638,836円		
〔自然教室事業費〕	6,829,223円		
〔一般経費〕			
・教育振興一般経費(社会科三重県・四日市地図、遊覧船いなば使用料等)	2,834,500円		

**(学校教育課)**

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	講師による授業時間数	目標	60,000時間	実績	56,593時間 (16年度53,604時間)
説明	基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として平成14年度から開始した事業で、多人数学級がある学校、学級数の多い学校に対して講師を配置しました。16年度から飛躍的に授業時間数が伸び、児童には授業態度に落ち着きがみられるなど、学習環境の改善が図られる一方で、講師の採用、配置に要する事務量の増加への対応や講師の質の維持・向上等が今後の課題となっています。				
	〔基礎学力充実教員加配事業〕		127,441,140円		

目的	障害児学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	70人	実績	74人 (16年度 66人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応・支援等が要求される障害児学級に対して介助員を配し、障害児教育の充実を図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置につとめていきます。				
	〔障害児学級児童介助費〕		75,679,557円		
	〔障害児学級一般教材備品費〕		4,751,545円		

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	13校	実績	6校 (16年度11校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」:学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの				
	〔学校図書館図書整備事業費〕		16,846,430円		

**その他経費**

〔教材・教具整備費〕	14,277,455円		
・一般教材・教具(ミシン、デジカメ等)	12,199,706円		
・理科教育振興備品(顕微鏡等)	2,077,749円	(国庫支出金)	606,638円)
〔要保護準要保護児童就学援助費〕	99,320,539円	(国庫支出金)	482,404円)
〔障害児教育就学奨励費〕	5,370,464円	(国庫支出金)	1,761,024円)

**目3 学校建設費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
829,357,000円	822,061,454円		7,295,546円

**(教育施設課)**

目的	学校施設の充実				
指標	(校舎増築) 整備校数	目標	建物リース 2校	実績	建物リース 2校 (16年度建物リース2校)
説明	【校舎増築】教室不足となる海蔵小学校については仮設校舎のリースをおこない平成18年度の本校舎増築までの対応をしました。また、仮設校舎の解消として常磐小学校において、18年度の本校舎増築まで仮設校舎のリース延長を行いました。また、同2校増築工事の設計を行うとともに、常磐小学校増築工事の関連工事を施工しました。				
	〔その他施設整備費〕		12,799,500円		
	〔校舎増築事業費〕		47,131,875円		

目的	学校施設環境向上				
指標	(校舎改築)整備校数	目標	1校	実績	1校 (16年度)
説明	【校舎改築】富田小学校について老朽化校舎の改築工事をPFI事業により着手し施行しました。平成18年度完成の予定で計画どおり遂行しています。 また、18年度工事予定の楠小学校の改築についての設計、調査を行いました。				

〔PFI学校施設整備費〕 298,530,900円 (国庫支出金 91,319,000円、市債 86,300,000円)

〔楠小学校改築事業費〕 13,330,800円 (市債 12,600,000円)

目的	安全・安心の施設整備				
指標	整備率	目標	(給食室改修) 72% (バリアフリー化整備) 82% (校舎・体育館耐震補強整備) 100%	実績	72% (16年度 63%) 82% (16年度 70%) 100% (16年度 69%)

【給食室改修】学校給食の安全のため、区域区別化のための間仕切、床排水の改修、食品庫設置、配膳室の空調設置等の工事を下野小学校、大谷台小学校、四郷小学校にて施工しました。これにより、衛生管理強化改修整備率を63%から72%にし目標どおり執行しました。

【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活をおくれる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を三重北小学校、県小学校、桜台小学校、川島小学校、楠小学校にて施工し、整備率を70%から82%に引き上げ計画どおり執行しました。

【校舎・体育館耐震補強整備】非常時の学校施設の安全のため、耐震性能を高めるための鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交の増設、内部改修等の工事を、校舎については富洲原小学校、桜台小学校、川島小学校、三重北小学校、保々小学校、県小学校にて施工し、体育館については常磐西小学校、大谷台小学校、八郷西小学校、楠小学校、三重北小学校、保々小学校、県小学校にて施工し、計画していた校舎・体育館の補強整備工事を完了しました。

〔給食室改修費〕 90,326,250円 (国庫支出金 5,949,000円、市債 62,300,000円)

〔バリアフリー化施設整備費〕 114,078,300円 (市債 85,700,000円)

〔耐震補強事業費〕 183,558,900円 (国庫支出金 61,486,000円、市債 81,000,000円)

目的	快適環境づくり				
指標	空調設備整備校数	目標	10校	実績	10校 (16年度 10校)

〔その他施設整備費〕 19,927,950円

#### その他経費

〔その他施設整備費〕 28,553,595円 (市債 6,300,000円)

・神前小学校郷土資料館整備費 7,502,250円

・消火栓ホース購入費 5,011,440円

・その他 16,039,905円

〔校舎等譲受費〕 9,529,620円

〔事業事務費〕 4,293,764円

・一般職給 1人 1,108,574円

・その他事務費 3,185,190円

項3 中学校費  
目1 学校管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
541,718,000円	527,286,898円		14,431,102円

〔嘱託職給〕 18人 58,967,240円

(教育総務課)

〔通学路交通安全施設整備事業費〕 10,000,000円 (市債 10,000,000円)

〔学校管理運営費〕 16,110,711円

・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)

(学校教育課)

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.5% (16年度 99.5%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、生徒の健康維持、管理に努めています。17年度の受診率は99.5%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで生徒の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕 22,656,100円

・校医 24人 11,588,500円

・歯科医 24人 8,992,400円

・薬剤師 22人 2,075,200円

〔学校保健衛生管理費〕 15,509,913円

・生徒健康診断費

その他経費

〔学校管理運営費〕 161,968,692円

・一般管理運営費

光熱水費等経常経費

〔学校管理備品整備費〕 21,770,886円

・一般備品(印刷機、プログラムチャイム等管理備品費)

21,185,143円

・一般保健室備品 585,743円

〔学校保健衛生管理費〕 41,088,417円

・教職員健康診断費 4,836,257円

・一般管理運営費(保健用消耗品、災害共済給付金等)

36,252,160円 (その他特財 33,463,071円)

〔学校給食管理運営費〕 101,057円

・一般管理運営費

〔修学旅行引率事業費補助金〕 2,009,651円

〔負担金〕 9,724,988円

・学校災害賠償補償保険料等 786,603円

・日本スポーツ振興センター共済掛金 7,868,855円 (その他特財 3,509,100円)

・三重県学校保健会 127,050円

・全日本中学校長会等 942,480円

(教育施設課)

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	23%以下	実績	25% (16年度 25%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうことから、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難であり、全体の工事件数が伸びないこともあり、緊急工事件数としては昨年度より減少したものの、目標値どおりには減少させることができませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔学校管理運営費〕	158,339,889円		
・施設維持管理費	40,823,799円	(国庫支出金	28,000円)
・施設補修費	109,028,775円	(国庫支出金	900,000円)
・PFI学校施設管理費	8,487,315円		

#### その他経費

〔学校管理運営費〕	8,285,970円	(その他特財	226,546円)
・一般管理運営費(土地使用料)			

#### (指導課)

#### その他経費

〔学校管理運営費〕	752,700円
・一般管理運営費(修学旅行及び自然教室実施時の代替養護職員の賃金)	

## 目2 教育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
233,456,000円	230,234,727円		3,221,273円

#### (指導課)

目的	小中学校教育の充実				
指標	自然教室実施調査結果	目標	自然教室の目標達成度84%以上	実績	自然教室の目標達成度 84% (16年度 84%)
説明	自然教室では、中学校1・2年生を対象に自然とのふれあいを通しての体験活動として、観察や飯盒炊さん、里山保全、冬季のスキー等を、また集団生活を通じて仲間どうしのふれあいを深める活動等を行いました。各校の自然教室の目標達成度は84%となっていますが、今後、自然教室をさらに有意義なものとするために、小学校の活動内容をふまえた企画や、発達段階に応じたプログラムに工夫するなど、小学校との連携や教師の指導技術力や指導体制、企画面等の側面からも見直しを図りながら充実に努める必要があります。				

〔障害児学級費〕 272,009円

・障害児学級連合合宿費

〔自然教室事業費〕 11,754,593円

〔一般経費〕

・教育振興一般経費(進路指導検査診断委託料等)

1,893,539円

#### (学校教育課)

目的	基礎学力の充実(市単独事業による講師採用の充実)				
指標	講師による授業時間数	目標	28,000 時間	実績	23,220 時間 (16年度26,118 時間)
説明	中学生の数学・英語を中心に基礎学力の向上ときめ細やかな学習指導を図ることを目的として平成14年度から開始した事業で、多人数学級がある学校、学級数の多い学校に対して講師を配置しました。16年度から飛躍的な授業時間数が伸び、生徒には授業態度に落ち着きが見られるなど、学習環境の改善が図られる一方で、講師の採用、配置に要する事務量の増加への対応や講師の質の維持・向上等が今後の課題となっています。				

〔基礎学力充実教員加配事業〕

63,935,476円

目的	障害児学級の介助員の充実				
指標	介助員の人数	目標	22人	実績	22人 (16年度 21人)
説明	多動性の情緒障害児、肢体不自由児など細やかな対応、支援等が要求される障害児学級に対して介助員を配し、障害児教育の充実に図りました。今後も対応が必要になる児童が増加している状況をふまえ介助員の適切な配置につとめていきます。				

〔障害児学級生徒介助費〕 24,011,853円  
 〔障害児学級一般教材備品費〕 2,661,672円

目的	学校図書館の整備				
指標	学校図書館 図書標準達成校	目標	2校	実績	2校 (16年度 0校)
説明	学校図書について、本市は平成13年度から15年度に文部科学省の「学校図書館資源共有型モデル地域事業」の指定を受け、市内の学校図書館のネットワークシステムの整備を行いました。このシステム整備にあたり学校図書の登録管理を更新する際、使用に耐えない古い書籍等を処分したため、一時的に学校図書館図書標準に対する整備率が低下することになりましたが、今後も蔵書の充実に取り組んでいきます。 「学校図書館図書標準」：学級数に応じて整備すべき蔵書の標準として国が定めたもの 〔学校図書館図書整備事業費〕 14,850,022円				

**その他経費**

〔教材・教具整備費〕 19,838,533円  
 ・一般教材・教具(デジカメ、クラブ用品等) 18,000,672円  
 ・理科教育振興備品(顕微鏡等) 1,837,861円 (国庫支出金 554,362円)  
 〔要保護準要保護生徒就学援助費〕 46,025,755円 (国庫支出金 832,596円)  
 〔障害児教育就学奨励費〕 1,915,092円 (国庫支出金 627,976円)

**目3 学校建設費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,035,920,000円	2,035,534,601円		385,399円

**(教育施設課)**

目的	学校施設環境向上				
指標	(校舎改築) 整備校数	目標	2校	実績	2校 (16年度 )
説明	【校舎改築】南中学校、橋北中学校について老朽化校舎の改築工事をPFI事業により前年度から着手し平成17年度末に完了しました。港中学校の改築工事については、同じくPFI事業により着手し平成18年度完成の予定で計画どおり遂行しています。 〔PFI学校施設整備費〕 1,695,969,398円 (国庫支出金 591,155,000円、 県支出金 4,882,000円、 その他特財 1,000,000円、 市債 849,000,000円)				

目的	安全安心の施設整備				
指標	整備率	目標	(バリアフリー化整備) 86% (校舎・体育館耐震補強整備) 100%	実績	86% (16年度 72%) 100% (16年度60%)
説明	【バリアフリー化整備】身障者、健常者が共に学べ、円滑に学校生活をおくれる環境づくりのため、身障者用トイレ設置、階段・廊下手摺の設置、出入口段差解消スロープの設置等の工事を羽津中学校、大池中学校、内部中学校にて施工し、整備率を72%から86%にし計画どおり執行しました。 【校舎・体育館耐震補強整備】非常時の学校施設の安全のため、耐震性能を高めるための鉄筋コンクリート壁の増設、鉄骨筋交の増設、内部改修等の工事を校舎については富田中学校、西笹川中学校、羽津中学校、三重平中学校にて施工し、体育館については西笹川中学校、羽津中学校、大池中学校にて施工し、計画していた校舎・体育館の耐震補強整備工事を完了しました。 〔バリアフリー化施設整備費〕 57,793,050円 (市債 42,300,000円) 〔耐震補強事業費〕 74,643,450円 (国庫支出金 19,884,000円、 市債 37,800,000円)				

**その他経費**

〔その他施設整備費〕	24,658,326円		
・三滝中学校武道場整備	15,382,500円	(市債)	12,900,000円)
・富田中学校倉庫物置設置	913,500円		
・その他	8,362,326円		
〔校舎等譲受費〕	1,457,220円		
〔公共用地取得事業費〕	170,653,088円		
〔事業事務費〕	10,360,069円		
・一般職給 1人	9,391,340円		
・その他事務費	968,729円		

**項4 幼稚園費**  
**目1 幼稚園費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,080,680,000円	1,064,029,412円		16,650,588円

〔一般職給〕	82人	591,986,076円
〔再任用職給〕	4人	8,954,177円
〔嘱託職給〕	16人	54,593,618円

**(教育総務課)**

〔園管理運営費〕	135,795,220円	(その他特財 107,819,967円)
・一般管理運営費(事務補助及び用務員賃金等)		

目的	私立学校の教育条件の維持向上及び経営の健全化の支援				
指標	公私立園保育料格差	目標	公私立園保育料格差の縮減	実績	76,758円 (16年度 75,566円)
説明	私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、世帯の所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、国の支援を受け、私立幼稚園の入園料・保育料の補助を行いました。				

〔私立幼稚園就園奨励費補助金〕 151,535,480円 (国庫支出金 41,835,000円)

補助対象者 2,203人

平成17年度市町村民税	年間補助限度額	補助対象者	合計
非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	第1子 139,100円	101人	115人
	第2子 197,000円	14人	
	第3子 254,000円	0人	
所得割非課税世帯	第1子 105,400円	47人	54人
	第2子 177,000円	7人	
	第3子 247,000円	0人	
所得割課税の額が 17,200円以下の世帯	第1子 80,800円	151人	175人
	第2子 162,000円	24人	
	第3子 242,000円	0人	
所得割課税の額が 124,400円以下の世帯	第1子 56,800円	1,721人	1,859人
	第2子 147,000円	138人	
	第3子 237,000円	0人	

**(学校教育課)**

目的	健康診断の実施				
指標	受診率	目標	100%	実績	99.3 % (16年度 99.0%)
説明	健康診断については、学校保健法に基づく心臓、検便、検尿等、毎年学校医、歯科医等の検診により、園児の健康維持、管理に努めています。16年度の受診率は99.0%となっており、今後ともほぼ100%の受診率を確保することで園児の健康維持、管理に努めます。				

〔非常勤職員報酬〕	13,332,820円
・校医 23人	6,132,940円
・歯科医 23人	5,759,880円
・薬剤師 24人	1,440,000円
〔園保健衛生管理費〕	620,547円
・園児健康診断費	

**その他経費**

〔園管理運営費〕	31,393,033円	〔その他特財 31,193,033円〕 〔国庫支出金 200,000円〕
・一般管理運営費（光熱水費等経常経費）		
〔園管理備品整備費〕	6,210,620円	
・一般備品整備費		
〔教材・教具整備費〕	1,334,448円	
・保育用教材・教具		
〔園保健衛生管理費〕	2,519,629円	（その他特財 608,220円）
・一般管理運営費（保健備品、災害共済給付金等）		
〔教育振興一般経費〕	5,979,014円	
・保育用消耗品		
〔負担金〕	927,369円	
・学校災害賠償補償保険料等	152,314円	
・日本スポーツ振興センター共済掛金	483,505円	（その他特財 221,245円）
・全国国公立幼稚園長会等	129,085円	
・三重県学校保健会負担金	24,465円	

**(教育施設課)**

目的	教育施設の適正な維持管理・補修				
指標	緊急工事率	目標	10%以下	実績	13% (16年度 9%)
説明	施設の維持管理については、適切な維持管理補修等を十分おこなうことで、「緊急工事」の発生を少しでも抑えることができることから、施設の保守点検、清掃管理等を定期的に行うとともに、適切な補修改修を計画的に施工するなど施設設備の適正な維持管理整備に努めました。しかし、老朽化が進むなか、施設設備の全面更新は予算的にもなかなか困難であり、目標値どおりには減少させることができませんでした。今後、優先度等を勘案しながら予算の効率運用に心がけ、適正維持管理の執行に努めます。				

〔園管理運営費〕	29,289,987円
・施設維持管理費	7,822,739円
・施設補修費	21,467,248円
〔施設整備事業費〕	14,704,620円
・園舎等整備費	6,107,850円
・その他施設整備費	8,596,770円

目的	安全安心の施設整備				
指標	整備率	目標	(防犯カメラ整備) 100%	実績	100 % (16年度 4%)
説明	【安全・防犯対策整備】安全対策のため、防犯カメラを22園に設置し、防犯カメラ整備を完了しました。				

〔施設整備事業費〕	14,018,550円
・その他施設整備費	

**その他経費**

〔園管理運営費〕 834,204円 (その他特財 179,390円)  
 ・一般管理運営費(土地使用料)

**項5 社会教育費****目1 社会教育総務費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
502,063,700円	497,518,525円		4,545,175円

〔一般職給〕 40人 350,915,944円  
 〔再任用職給〕 1人 3,025,403円  
 〔嘱託職給〕 16人 50,267,157円

**(社会教育課)**

目的	市民・有識者の意見反映				
指標	会議の開催回数	目標	3回	実績	4回
説明	社会教育委員会議において、「家庭教育に関する現状と課題、その対応策について」等をテーマに3回開催しました。また、17年3月に策定した「子ども読書活動推進計画」に基づき、市民を中心とした推進会議を1回開催しました。計4回となり、目標を達成しました。				

〔委員報酬〕 173,800円  
 ・社会教育委員 10人  
 〔委員報償費〕 37,900円  
 ・子どもの読書活動推進計画推進会議委員 7人  
 〔社会教育指導者研修費〕 148,500円  
 社会教育委員等の研修

**その他経費**

〔子どもの読書活動推進事業〕 62,000円  
 四日市市子どもの読書活動推進計画をもとに啓発行事を実施  
 〔成人の日行事開催費〕 2,855,883円  
 参加者数 約3,200人  
 〔各種団体活動費〕 200,000円  
 ・四日市市PTA連絡協議会運営費補助金等  
 〔PTA東海北陸大会開催補助金〕 500,000円  
 〔負担金〕 28,201円  
 ・三重県社会教育委員連絡協議会等

目的	文化財の保護と活用				
指標	新規指定件数 文化財説明板の更新・ 新設	目標	指定 1件 更新・新設 2件	実績	指定3件(16年度2件) 新設0件(16年度2件) 更新2件(16年度1件)
説明	市にとって重要な文化遺産を保存するため、市教育委員会所有の発掘出土品3件(茶臼山古墳群・御池古墳群・北中寺遺跡)を市の有形文化財(考古資料)に指定しました。また文化財看板の新設・更新を行い市民の文化財の学習や見学の一助としました。				

〔委員報酬〕 189,600円  
 ・文化財保護審議会委員 13人

〔文化財維持管理事業費〕 4,600,537円  
 ・指定文化財・天然記念物の管理  
 ・文化財パトロール調査員による埋蔵文化財・天然記念物の実態把握  
 ・文化財説明板の新設・更新

〔文化財保存対策事業費〕	3,684,540円	（その他特財 1,862,437円）
・御池沼沢植物群落保存対策事業 東部指定地草刈	243,231円	
・御池沼沢植物群落環境整備事業 西部指定地の給水管取替	1,664,880円	
・指定文化財保存事業費補助金 「南納屋町鯨船山車」収蔵庫改築、「つつくおどり」太鼓等修理	1,862,437円	
・ふるさとの道維持管理事業 「四郷ふるさとの道」トイレ等の管理	1,107,842円	

〔負担金〕

・全国近代化遺産活用連絡協議会負担金	20,000円
--------------------	---------

目的	埋蔵文化財の保護と活用				
指標	発掘調査面積	目標	5,000㎡	実績	6,222㎡(16年度1,669㎡)
	発掘展来場者数		6,500人		
説明	記録保存のための緊急発掘調査3遺跡5,622㎡、史跡申請のための学術発掘調査1遺跡600㎡を行いました。また、発掘調査の成果を公開するため、夏休みに市立博物館において市内出土品を展示する発掘展を開きました。				

〔埋蔵文化財保護事業費〕	5,215,810円	（その他特財 85,300円）
埋蔵文化財包蔵地内の開発と保護の調整		

〔埋蔵文化財発掘調査受託事業〕	70,000,000円	（その他特財 70,000,000円）
一般職給 4人	30,805,024円	
嘱託職給 1人	3,495,653円	
発掘調査費	35,699,323円	

〔埋蔵文化財緊急調査事業〕	2,000,000円	（県支出金 1,333,000円）
史跡申請のための久留倍遺跡範囲確認調査		

〔久留倍遺跡保存活用事業〕	1,991,850円
北勢バイパス工事に併せて実施する久留倍遺跡整備事業（遺跡見学者用地下道・雨水排水施設）の基本計画策定事業	

## 目2 青少年教育費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
91,901,300円	88,099,438円		3,801,862円

### （社会教育課）

目的	家庭教育の向上を支援する				
指標	家庭教育講座の受講者数	目標	年間述べ 14,000人	実績	14,509人 (16年度 16,091人)
	<p>青少年の健全育成には、家庭や地域の教育力の向上が重要であるため家庭教育に関する講座の開設を四日市市PTA連絡協議会及び私立幼稚園、小学校、中学校各PTAに委託し、家庭教育の啓発を推進しました。</p> <p>平成16年度は、市P連への家庭教育講座委託及び家庭教育講演会（市民会議と共催で開催）に参加した延べ人数を計上しているため、実績上は減少しているものの概ね目標は達成しました。</p> <p>家庭教育講座を実施しなかった私立幼稚園、小学校、中学校各PTAへの働きかけ及び興味、関心のある家庭教育講座のテーマ設定、参加しやすい開催日時、会場での開催を働きかける必要があります。</p>				

〔家庭教育振興事業費〕

・家庭教育講座委託事業費	1,470,000円
四日市市PTA連絡協議会（86単位PTA）及び12の私立幼稚園・小中学校へ委託事業として家庭教育講座を実施（年間延べ140回14,509人）	
・家庭教育啓発事業費	1,685,219円
市民出演型の家庭教育CM「家族、大好き」をケーブルテレビで放映（年間のべ48本1,008回）	

目的	地域の青少年育成活動を促進する				
指標	子ども会児童加入率	目標	80%以上	実績	77.5% (16年度 四 78.1% 楠 100.0%)
説明	子どもたちが異年齢集団による遊びや体験活動を通じて社会性、協調性が養われるよう子ども会育成者連絡協議会に対し、子ども会の意義の再認識、魅力ある活動づくりなど活性化を図るよう支援を行いました。 また、子どもの体験活動を実践している市民団体等が企画・運営する体験活動に対してその経費の一部を助成し、青少年の集団活動や体験活動を支援しました。				

〔青少年健全育成事業費〕

- ・青少年体験活動促進事業 957,162円  
青少年を対象として市民団体等が企画・実施する青少年体験活動を募集し、その経費の一部を助成するとともに、青少年体験活動フォーラムを開催（助成団体 6団体：参加者数延べ880人）
- ・青年リーダー研修費 572,957円  
子ども会や地域の活動における、年少者リーダーとなる青少年（小学5年生から高校生）を募集し、ジュニアリーダー等養成講習会を開催しました。（開催日数9日：参加者数62人）
- ・子ども広場整備事業費補助金 7,983,850円  
民間の団体または有志者が建設する子ども広場の整備事業に対してその経費の一部を補助しました。  
（新設2箇所、増設2箇所、補修29箇所）（市内現計212カ所）
- ・子ども緊急避難所設置推進事業費 850,290円  
「こどもをまもるいえ」の設置を推進（市内34団体10,305カ所）  
「子ども110番みまもりたい」活動の推進（協力車両数847台）

〔補助金〕

- ・四日市市子ども会育成者連絡協議会運営費補助金 1,600,000円
- ・四日市市青少年育成市民会議運営費補助金 1,040,000円
- ・青少年団体運営費補助金 152,000円  
ボーイスカウト・ガールスカウト運営協議会及び四日市海洋少年団

目的	青少年の非行防止を支援する				
指標	補導員による街頭補導実施回数	目標	年間のべ 480回以上	実績	年間のべ 436回 (16年度 年間延べ468回)
説明	中央補導員、三泗地区広域補導員を中心に、ライオンズクラブ、警察等と協同して繁華街・駅・公園・ゲーム場など青少年が多く集まる場所を巡回して、指導・助言を行うことを主な内容とした街頭補導活動を行いました。 補導した少年は、前年度と比較して若干減少したものの、高校生が全体の50%近くを占める状況です。（青少年の補導状況詳細については、下表に記す。） また、警察等の深夜徘徊での補導件数は増加の一途であり青少年の非行化が懸念されます。				

〔委員報酬〕

134,300円

- ・青少年問題協議会委員 9人（年2回開催）

〔青少年相談事業費〕

- ・青少年相談員研修費 425,490円

〔青少年健全育成事業費〕

- ・子どもと若者の居場所づくり事業費 3,109,580円  
勤労青少年ホームにおいて、毎週土・日曜日に開所（利用者数延べ1,556人）

〔補導員報償費〕

1,225,000円

青少年の補導状況

	補導少年延人数					相談回数		
	小学生	中学生	高校生	その他	計	面接	電話	計
H17	69人 (16.1%)	54人 (12.6%)	212人 (49.5%)	93人 (21.8%)	428人 (100%)	13回	93回	106回
H16	74人 (14.8%)	85人 (16.9%)	195人 (38.9%)	147人 (29.4%)	501人 (100%)	13回	57回	70回

目的	留守家庭児童の保育活動を支援する				
指標	学童保育所の利用児童数	目標	24箇所 730人/月	実績	24箇所 709人/月 (16年度 四21箇所615人/月 楠1箇所20人/月)
説明	共働き等により、放課後及び学校休業日の昼間に親が家庭にいない児童の保育、健全育成を目的に運営委員会が設置・運営する学童保育所に対して、その経費の一部補助等を行いました。 平成17年度は、新たに中部西、塩浜学童保育所の2箇所が開所され、また、泊山学童保育所では、建築費補助を活用し学童保育所を新築しました。				

〔青少年健全育成事業費〕

- ・学童保育事業費補助金 63,621,080円 (県支出金 31,555,000円)  
海蔵・笹川・日永・桜・常磐・常磐西・内部・高花平・内部東・四郷・川島・下野・県・富洲原  
浜田・大矢知・泊山・富田・三重・河原田・三重西・楠・中部西・塩浜 計24カ所

〔その他経費〕

- 〔青少年一般経費〕 2,991,510円
- 〔負担金〕 275,000円
- ・三泗地区広域補導協議会 260,000円
- ・三重県青少年補導センター連絡協議会 15,000円

目3 公民館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,026,000円	41,869,500円		14,156,500円

(市民文化課)

目的	市民が主体的にまちづくりに参画するために必要な生涯学習活動を支援する				
指標	施設利用数(地区市民センター)	目標	30,000回	実績	29,717回 (16年度 29,555回)
説明	23地区市民センターにおいて、地域社会づくりの拠点として、地域課題に即した公民館講座を地域団体の協力を得ながら実施しました。また、公民館業務が市長部局へ一本化されたことで、消費生活講座など行政課題解決の視点に立った新規の講座開設にも取り組みました。貸館については、受益者負担の観点からの減免規定見直し後2年目となり、利用者の理解を得るように努めた結果、参加人数合計も前年度比102.3%と増加に転じました。				

- 〔生涯学習振興事業費〕 6,128,262円
- 〔公民館一般経費〕 1,725,758円

地区市民センター事業活動状況  
講座実施状況

講座対象	講座回数	参加人数
青少年	46	1,787
女性	21	613
成人	160	2,314
高齢者	59	2,848
リーダー研修	23	362
全住民	147	7,181
スポーツ・レクリエーション	21	637
家庭教育	161	6,474
小計	638	22,216

施設利用状況

活動内容	回数	参加人数
地区市民センター主催事業(講座)	658	13,874
サークル活動	20,372	230,553
地域づくり活動等	8,687	213,662
合計	29,717	458,089

地域づくり活動とは  
地域社会づくり委員会、自治会、社協  
同推協、青少協、婦人会、老人会  
民生委員会などの活動、その他

**その他経費**

〔負担金〕

407,700円

・三重県公民館連絡協議会等

**(社会教育課)**

目的	地域の社会教育活動への支援				
指標	年間利用回数	目標	現状維持	実績	3,957回 (16年度 3,635回)
説明	住民の学習活動、地域活動を推進するため、学校施設の教室開放を行いました。平成16年度より利用回数が増えており、地域の活動がより推進されました。				

〔学校開放事業費〕

1,170,000円 (その他特財 274,620円)

**(楠プラザ)**

目的	市民が主体となる生涯学習活動を支援する。				
指標	楠プラザに関わる事業の総参加者数	目標	21,000人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 2,700人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 12,000人 資料館来館者 3,000人	実績	31,666人 (内訳) 運動会 3,000人 文化祭 2,900人 公民館フェスティバル 300人 図書貸出利用者 19,511人 資料館来館者 5,955人
説明	公民館は生涯学習の拠点施設として、住民自ら学ぶ力を育む学習活動や、趣味・文化活動を継続して行えるように、講座の開催や文化活動への支援を行いました。また、図書室については、他館との連携、インターネット予約の導入、図書室だよりの発行などにより利用者が大幅に増えました。				

〔楠公民館事業費〕

411,720円

公民館フェスティバルをはじめ、子どもから高齢者までを対象とした各種講座や講演会を開催

〔楠公民館図書室事業費〕

2,790,209円

図書室利用状況

貸出利用者数	貸出冊数	教室開催回数	参加者数
19,511人	86,752冊	57回	1,303人

〔楠公民館管理運営費〕	7,349,441円	(その他特財 622,778円)
〔楠公民館一般経費〕	10,548,510円	
〔楠公民館整備事業費〕	11,337,900円	
老朽化による空調設備の改修		

目4 図書館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,463,000円	138,061,107円		7,401,893円

(図書館)

目的	市民の多様な学習要望に応じ、使い易く居心地の良い図書館を目指す				
指標	図書館利用登録者数		100,000人		101,788人 (16年度96,568人)
	図書館利用者数 (本館入館者数)	目標	300,000人	実績	276,975人 (16年度293,347人)
	貸出冊数		870,000冊		854,792冊 (16年度855,365冊)
説明	<p>9月末からインターネット予約の受付が始まり、今まで図書館で本を借りることのなかった利用者層が増加したことにより利用登録者数は増加しました。しかし、読みたい本をインターネットで検索して予約し、市立図書館・あさけプラザ図書館・楠公民館図書室のいずれでも本を受け取ることができるようになり、図書館入館者数については減少しました。</p> <p>また、パソコンの普及により必要な情報を手に入れる手段としてインターネットを利用する機会が増えており、本を利用した調べものをする人が減少しました。</p> <p>このような状況を踏まえ、調べ物の支援を行う図書館のレファレンスサービスの充実と利用のPR,メールによるレファレンス実施を行い、時代に沿ったサービスの展開を行っていきます。また、多様化する市民ニーズにあわせた蔵書構成に努めます。</p>				

〔図書館維持管理費〕	42,662,998円	(その他特財 373,018円)
図書館施設管理委託		
〔図書館施設整備事業費〕	6,963,300円	
受電設備更新工事		
閲覧用椅子の購入費		
〔図書資料整備費〕	29,344,820円	
〔人権啓発拠点事業推進事業費〕	670,404円	
図書館資料の購入費		
〔図書館運営費〕	5,270,550円	
点字録音資料作成委託		
各種講座の実施等		
〔図書管理システム運営費〕	36,016,354円	
図書館情報システム構成機器等借上げ及び保守委託		
〔移動図書館運転業務委託事業費〕	5,173,104円	
移動図書館車運転業務の委託等		
〔図書館運営業務整備事業〕	11,455,686円	
図書貸出等業務委託		
自動貸出機借上げ・移動式書架借上げ		
〔市民に求められる図書館検討事業費〕	239,791円	
市民に求められる図書館検討懇話会経費		
及び来館者アンケート調査実施		

その他経費

負担金・委員報酬	264,100円
----------	----------

図書資料状況

図書区分	16年度末蔵書冊数	受入冊数	払出冊数	17年度末蔵書冊数
本館成人図書	248,794	11,215	5,410	254,599
本館児童図書	68,085	3,016	833	70,268
本館雑誌	18,383	2,830	2,677	18,536
点字資料	1,447	27	0	1,474
録音資料	3,105	63	44	3,124
計	339,814	17,151	8,964	348,001
自動車文庫図書	46,737	2,900	646	48,991
自動車文庫雑誌	620	82	108	594
計	47,357	2,982	754	49,585
合計	387,171	20,133	9,718	397,586

利用状況

	開館日数	利用者数	登録者数	貸出者数	貸出冊数	相談件数
平成16年度	274	293,347	96,568	164,311	855,365	5,140
平成17年度	274	276,975	101,788	164,495	854,792	4,827

目5 少年自然の家費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,761,000円	55,418,667円		1,342,333円

(少年自然の家)

目的	青少年に野外活動を中心とした活動プログラムの提供や指導及び活動の場を提供する				
指標	利用団体数	目標	265団体 19,100名	実績	330団体 (16年度288団体) 22,745名 (16年度23,366名)
説明	<p>平成16年度はアジアの自転車競技大会の宿舎になったこと等、例年になく特別な利用がありましたので、目標を大きく上回ることとなりましたが、平成17年度においても、より多くの市民に少年自然の家で自然体験活動を行ってもらえるように、広報活動の幅を広げ、利用団体数及び利用者数を伸ばすことができました。</p> <p>受け入れ事業では、「ふれあいの森」など少年自然の家の施設を利用した自然体験活動をより多く取り入れて、感動する心、自然と共生する心、自主性や協調性を育成していただくために、新たなプログラム開発を進めました。</p> <p>主催事業では、これまでの事業を充実させるとともに、市立博物館や民間の団体、地元地域との連携を図ることで、新たな事業を企画し、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを提供することができました。</p> <p>施設整備においては、施設の老朽化が進む中、利用者が安全、快適に過ごせるように、施設内外の維持管理・運営に努めました。</p>				

〔主催事業費〕 1,135,062円

小・中学生を対象とした事業 11回

アドベンチャースクール	小学5～6年生 80人	5/14～15	登山、パングライド-体験等
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生 73人	6/11～12	野外炊事、キャンプファイ-等
わくわくキッズチャレンジ	小学4年生 79人	10/15～16	野外炊事、キャンプファイ-等
ワイルドキャンプ	小学6～中学生 58人	8/9～12	登山、野外炊事等
スペースキャンプ	小学5～中学生 80人	12/3～4	プラネタリウム、ネイチャーワ-ト等
ウインターフェスタ	小学4～6年生 73人	12/17～18	冬の森探検、野外炊事等
子ども自然塾	小学4～6年生 42人	4/23 日曜	春の植物観察、野草天ぷら
子ども自然塾	小学4～6年生 37人	7/23 日曜	夏の雑木林調べ
子ども自然塾	小学4～6年生 27人	11/19 日曜	ドングリ博士になろう
子ども自然塾	小学4～6年生 7人	1/14 日曜	冬の森探検、七草粥
子ども自然塾	小学4～6年生 12人	3/25 日曜	春の息吹を探そう

家族・グループを対象とした事業 5回

「野山の幸を味わおう」	市内在住家族	42人	4/9 日帰り	自然食材採集、山菜天ぷら 野外炊事、ネイチャークラブ等 落ち葉や木の実観察 冬の森観察、もちつき等 ネイチャークラブ
「森の中でテント泊」	市内在住家族	69人	7/9～10	
「秋と遊ぼう」	市内在住家族	8人	11/13 日帰り	
「冬の森とおもちつき」	市内在住家族	70人	1/28～29	
「親子でクラフト」	市内在住家族	21人	3/4 日帰り	

教職員・一般を対象とした事業 5回

アウトドアセミナー	教職員、一般	19人	8/24 日帰り	自然観察 野外炊事、天文教室 登山指導
アウトドアセミナー	教職員、一般	25人	9/29 日帰り	
自然教室合同下見会	教職員	17人	5/21、10/1、10/9	

その他 5回

水沢歴史探訪ウォーク	小学5～一般	27人	10/2 日帰り	水沢歴史探訪ハイキング 里山保全活動
自然の家里山クラブ	小学4～一般	60人	11/27、12/11、1/2 1、3/19 日帰り	

〔受け入れ事業費〕	44,103,758円	
（施設管理運営費）	41,541,458円	（その他特財15,453,224円）
・施設修繕費・清掃・保守点検費	15,116,018円	
・その他諸費（光熱水費・燃料費等）	20,612,136円	
・リネン・寝具関係費	5,813,304円	
（施設整備事業費）	2,467,500円	
（委員報酬）	94,800円	
・少年自然の家運営協議会委員 10人		

利用状況

施設 年度	自然の家		キャンプ場		市民広場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
13	186	16,234	44	3,056			230	19,290	14,410	4,880
14	189	15,192	44	2,446			233	17,638	14,344	3,294
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,953	6,413
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	330	22,745	19,045	3,700

平成16年度から、キャンプ場と水沢市民広場（利用申請の数）の利用を区分。

〔環境整備費〕	8,561,299円
（水沢市民広場管理運営費）	2,473,582円
（施設管理運営費）	6,087,717円
・臨時職員賃金	2,529,020円
・下草刈委託業務費	435,750円
・工事請負・原材料	3,122,947円

ふれあいの森で利用者が観察や自然体験活動を安全にできるよう、枯れ松の処理や下草刈り・観察路の整備等を実施しました。また、利用者が快適に過ごせるよう、施設のボイラーや空調設備の部品取替等を実施しました。

〔活動支援費〕	1,369,068円
（施設管理運営費）	1,369,068円
・臨時職員賃金	1,154,634円
・器具修繕費	214,434円
〔広報活動費〕	249,480円
（施設管理運営費）	249,480円
・印刷製本費	

市内小・中学校、児童生徒への主催事業案内チラシ配付や市の広報への記事掲載、少年自然の家利用案内ポスターの配布、ホームページの更新等、広報活動を行いました。

目6 博物館費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
228,784,000円	213,395,069円		15,388,931円

(博物館)

目的	郷土の歴史や自然に対する知識や理解を深め、郷土を大切にする心や科学する心を育み、よりよいまちづくりや未来を考える場を提供する			
指標	利用者数	目標	124,590人	実績
	観覧者満足度 (アンケート)		80%	108,752人 (16年度 96,458人) 74% (16年度 80%)
説明	<p>より多くの市民に利用していただくことが地域全体の文化の向上につながるとの観点から、多様な分野を取り上げて展覧会や投映などの事業を実施するとともに、内容の充実を図って利用者数の増加に努めましたが、前年度は上回ったものの、目標を達成することはできませんでした。満足度においても、前年度及び目標を下回る数値となりました。</p> <p>展覧会については、5本すべてを自主企画で開催しましたが、利用者数、満足度ともに伸び悩みました。市民のニーズに応える企画を目指してきましたが、より多くの市民に利用してもらうためには、潜在ニーズを掘り起こすような既存の枠に捕われない独創的な企画が必要であり、その立案が課題でもあります。</p> <p>一方、プラネタリウムの利用者数については、子供に人気の高いキャラクター番組の投映や新たな番組の開始、自主制作番組の内容の工夫、学校・園からの団体見学の増加などにより、開館以来最高の成果を残すことができました。また、利用の少ない中学生に対しても、移動式プラネタリウムを用いた学校への出前授業の実施により、授業をより豊かなものとするよう努めました。</p> <p>社会教育施設としてより多くの市民の生涯学習に寄与するとともに、学校との連携をより深めて学校教育を支援し、本市における博物館の存在意義をより高めていくよう努めます。</p>			

〔自主事業費〕	95,227,741円
・調査研究事業費	1,493,128円
・特別展等開催費	58,902,443円 (その他特財 17,701,330円)

展覧会  
特別展

展覧会名	実績額	期間	観覧者数
鈴鹿や富士を翔けた名車たち	18,747,041	4/23～5/29	6,312
太古からの地響き	7,956,072	6/25～9/4	9,212
キャンバスに刻まれた魂	5,425,499	9/17～10/23	2,561
伊勢の茶陶	11,532,866	11/3～12/11	4,268
聖武東遊	13,570,974	12/23～3/5	4,587
合計	57,232,452円	216日	26,940人

その他事業 常設展	1,669,991円	開館日数 296日	観覧者数 24,171人
--------------	------------	-----------	--------------

・資料収集保存事業費	14,796,388円
購入資料	5,726,596円
歴史資料 13点	403,096円
美術工芸資料 15点	5,323,500円
<主な購入資料>	
青釉花陰刻文仙蓋瓶(古萬古)	800,001円
朝鮮写獅子井戸覗蓋置(古萬古)	630,000円
薫蒸作業	2,629,200円
(収蔵庫及び展示室の薫蒸、機器の改修等)	
・教育普及活動事業費	1,096,538円 (その他特財 109,000円)

講座等実施状況

講座名等	回数	参加者数
ミュージアムセミナー	7	306
子ども博物館教室	16	253
その他	19	1,373
合計	42回	1,932人

博物館ボランティア 登録者数 80人  
 学習支援ボランティア 登録者数 11人  
 古文書ボランティア 登録者数 33人

・プラネタリウム運営事業費 13,632,034円 (その他特財 8,829,590円)  
 プラネタリウム  
 季節番組

番組名	実績額	期間	観覧者数
2005年土星への旅	976,549 (1,909,696)	4/1~5/29 (2/5~)	713 (1,190)
さんびきのこぶた ながれぼしをみた	1,369,259 (2,567,360)		1,671 (3,262)
アインシュタイン&ブラックホール	587,600	6/4~9/25	2,396
ポケットモンスター	3,376,340		15,297
火星サスペンス	417,915	10/1~1/29	2,070
おたすけじぞう	1,790,665		2,935
俳句と星	292,580 (585,159)	2/4~3/31 (~5/28)	460 (991)
おじゃる丸	1,671,876 (3,502,979)		2,326 (4,051)
12星座物語	265,448	6/4~3/31	1,521
合計	10,748,232円	273日	29,389人

( )内は前年度分又は後年度分を含む。

特別番組

番組名	実績額	回数	観覧者数
宇宙塾	289,060	5	473
生演奏コンサート	526,195	4	517
CDコンサート	33,500	4	453
合計	848,755円	13回	1,443人

学習投映番組 投映回数 139回 観覧者数 11,069人(210校園)  
 その他投映等 2,035,047円 観覧者数 618人

天文教育普及活動事業実施状況

事業名	回数	参加者数
子ども天文教室	5	237
移動プラネタリウム出前授業	6	600
その他	7	564
合計	18回	1,401人

・移動天文車運営事業費 5,307,210円  
 きらら号 出動回数 40回 参加者 4,623人  
 天文ボランティア 登録者数 52人

[施設管理運営費] 117,870,628円  
 ・博物館一般経費 103,874,443円 (その他特財 1,898,620円)  
 主な経費  
 清掃警備業務委託 25,717,125円  
 設備管理業務委託 19,500,075円  
 案内等業務委託 12,136,320円  
 ・展示設備維持管理費 2,530,500円

・プラネタリウム維持管理費	11,465,685円
主な経費	
プラネタリウム機器保守点検委託	8,820,000円

#### その他経費

〔委員報酬〕

・博物館協議会 20人	216,700円
-------------	----------

〔負担金〕

・日本博物館協会等	80,000円
-----------	---------

### 項6 保健体育費

#### 目1 保健体育総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
127,414,000円	127,022,164円		391,836円

〔一般職給〕 13人	117,105,358円
〔再任用職給〕 1人	3,008,175円
〔嘱託職給〕 2人	6,309,161円

(スポーツ課)

#### その他経費

〔委員報酬〕

・スポーツ振興審議会委員 14人	229,100円
------------------	----------

〔一般経費〕

・旅費	370,370円
-----	----------

#### 目2 体育振興費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,258,000円	64,363,535円		1,894,465円

(スポーツ課)

目的	生涯スポーツの普及・振興				
指標	教室・大会等への参加者数	目標	19,000人/年	実績	17,751人/年 (16年度 18,843人) 1人当たりコスト 3,626円 (16年度 3,323円)
説明	<p>各種スポーツ大会や教室の開催、地域スポーツ活動の場としての学校体育施設の開放、スポーツ団体等の育成を図るための運営費補助等を行い、生涯スポーツの普及・振興に努めました。</p> <p>また、保々地区において総合型地域スポーツクラブの活動が始まり、三重地区においては設立に向け、地元との調整を行いました。その後橋北地区、浜田地区と設立に向け、地元と調整を行なっています。</p> <p>目標値については到達しておりません。原因としては、少年団員数の減少等の影響もあるかと思われます。今後については、総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツの運営を支援する中で、潜在的なスポーツ人口を掘り起こしていきたい。</p>				

〔スポーツ活動振興事業費〕	18,701,299円	
・総合型地域スポーツクラブ育成事業費	3,433,840円	(その他特財 800,000円)
(平成17年度保々地区に設立済)		
(少年スポーツ・地域スポーツの振興を図る)		

・地域スポーツ活動振興事業費	9,587,682円	(その他特財 3,103,960円)
・市民スポーツフェスタ開催事業費	1,194,152円	
・少年スポーツ活動振興事業費	3,863,215円	(その他特財 451,350円)
・スポーツ功労者表彰経費	622,410円	
〔学校開放事業費〕	11,951,297円	(その他特財 6,104,590円)
〔補助金〕	21,745,692円	
(各種スポーツ団体の育成を図る)		
・四日市市体育協会	4,644,000円	
・三重県中学校体育連盟三泗支部	3,240,000円	
・四日市市レクリエーション協会	450,000円	
・四日市市スポーツ少年団	630,000円	
・四日市市体育指導委員連絡協議会	270,000円	
・各地区運動広場管理運営団体	965,092円	
・シティロードレース大会実行委員会	500,000円	
・全国大会等開催費	75,000円	
・全国大会等出場選手激励金等(913人)	10,971,600円	
(国際・全国スポーツ大会参加選手を支援するための激励金)		

### その他経費

〔体育指導委員経費〕	5,531,894円
〔負担金〕	4,189,117円
・三重県体育協会等	
〔体育振興一般経費〕	2,244,236円

## 目3 体育施設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
597,351,500円	592,564,720円		4,786,780円

### 〔明許繰越〕

〔運動施設整備事業費〕	4,540,000円
・霞ヶ浦舟艇場浚渫整備工事	

### (スポーツ課)

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率	目標	53%	実績	48% (16年度 49%) 1人当たりコスト 1,304円 (16年度 590円)
説明	中央緑地体育館耐震補強等改修工事及び陸上競技場メインスタンド・プールアスベスト除去工事を行いました。 市民が快適かつ安全に運動施設を利用できるよう、日常の維持管理に努めました。 目標の達成はできませんでしたが、稼働率が向上するように指定管理者への指導、調整等を強化していきたい。				

〔運動施設管理運営費〕	238,688,658円	(その他特財 58,985,468円)
・一般経費(施設管理委託料、光熱水費等)		
〔運動施設整備事業費〕	314,399,349円	
・中央緑地運動施設	314,186,199円	
中央緑地体育館耐震補強等改修工事	290,609,499円	(県支出金 100,000,000円) (市債 132,400,000円)
陸上競技場メインスタンド他アスベスト除去工事	23,576,700円	(県支出金 7,716,000円)
・その他運動施設整備事業費	213,150円	

〔負担金〕 15,000円  
 ・三重県体育施設協会

**その他経費**

**(楠プラザ)**

〔一般経費〕 20,473,713円 (その他特財 5,598,850円)

・楠プラザ運動施設一般経費

〔運動施設整備事業費〕 14,448,000円

・楠緑地体育館整備事業費

楠緑地体育館改修工事調査研究業務委託

**目4 四日市ドーム費**

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
85,932,000円	82,439,906円		3,492,094円

**(スポーツ課)**

目的	スポーツ施設及びスポーツ環境の整備				
指標	スポーツ施設稼働率の向上	目標	100%	実績	100% (16年度 100%) 1人当たりコスト 552円 (16年度 549円)
説明	市民サービスと利用率向上のため、インターネットでの広報活動等を行い、ドーム利用の促進に努めました。四日市ドームの稼働率については目標を達成できたが、今後も利用の促進に努めていきたい。				

〔自主事業費〕 234,000円

〔施設管理運営費〕 81,405,906円 (その他特財 43,111,624円)

〔補助金〕 800,000円

・イベント開催費

**四日市ドーム利用状況**

開館日数(A)	利用日数(B)	利用件数	利用率(B/A×100)	使用料収入		
310日	310日	447件	100%(H16 100%)	40,471,700円		
アマチュアスポーツ		その他の催し物			一般公開	合計
入場料無	入場料有	式典・講演会	展示・見本市	プロ興行		
417件	4件	3件	5件	0件	18件	447件